

取扱説明書



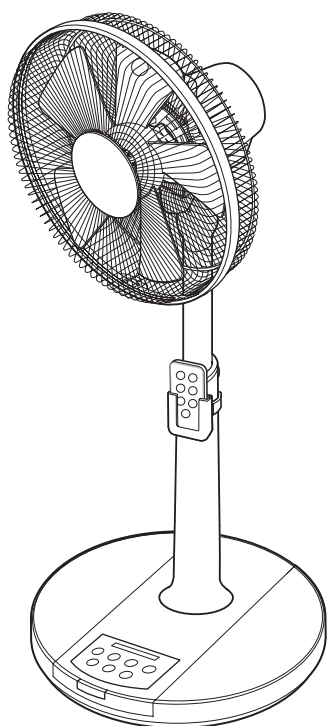
DC ハイポジションリビング扇風機

注文コード：39541828

MFD-HR1819

お買上げまことにありがとうございます。

- この「取扱説明書」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
お読みになった後は、いつでも取り出せるところに大切に保管してください。
特に 1 ～ 4 ページの「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- この商品を使用できるのは日本国内のみで、国外では使用できません。
This appliance is designed for domestic use in Japan only and cannot be used in any other country.



目次

安全上のご注意	1
各部の名称	5
リモコンについて	6
リモコンのご使用の前に	6
リチウム電池の入れかた／ 交換のしかた	6
リモコンの操作について	6
リモコンホルダーの取り付けかた	6
組み立てかた	7
使いかた	9
運転の前に	9
運転を開始／停止する	9
風量を調節する	10
モードを切り替える	10
首振り運転を開始／停止する	10
タイマーの設定をする	11
風向きを調節する	13
高さを調節する	13
お手入れと収納のしかた	14
お手入れのしかた	14
収納のしかた	14
故障かな？と思ったら	16
仕様	17
長期使用製品安全表示制度に 基づく本体表示について	17
愛情点検	18

Ⅰ 安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

●誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 警告	「この表示内容を見逃して誤った使い方をした場合は、死亡や重傷などの重大な傷害に結びつく可能性がある」内容です。
--	---

 注意	「この表示内容を見逃して誤った使い方をした場合は人的傷害や製品の破損、その他の物的損害へつながる可能性がある」内容です。
--	--

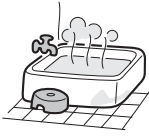
●お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。(下記は図記号の一部です)

	してはいけない「禁止」の内容です。
---	-------------------

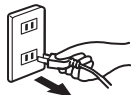
	必ず実行していただく「強制」の内容です。
	必ず行う
	電源プラグを抜く

 警告			
	●電源コードや電源プラグを交換したり乱暴に扱わない 電源コードやプラグが破損した場合には、直ちに使用を中止し、プラグをコンセントから抜き、危険が生じないようにするために、株式会社 MonotaRO(TEL:0120-443-509)にご相談ください。 電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、熱器具に近づけたり、重いものをのせたり、挟み込んだりしない。 電源コードが破損し、火災、感電の原因となります。		●電源コードや電源プラグが傷付いたり、コンセントのさし込みがゆるいときは使用しない 感電、発火の原因となります。
	電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、熱器具に近づけたり、重いものをのせたり、挟み込んだりしない。 電源コードが破損し、火災、感電の原因となります。		●羽根・ガードを付けずに運転しない けがの原因となります。
	電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、熱器具に近づけたり、重いものをのせたり、挟み込んだりしない。 電源コードが破損し、火災、感電の原因となります。		●ハンドルを持って振り回さない 破損・けがの原因となります。
	●本製品専用の部品以外使用しない けがや故障の原因となります。		●組み立てる前にスタンドを立てたり、電源プラグをさし込んだりしない 不安定なため転倒し、ショート、感電、けがの原因となります。

警告

 ● 本体にタオルなどをかぶせて使用しない 熱がこもり発火や火災、本体の変形や変色の原因となります。	 ● 開口部やすき間にピンや針金、金属物などの異物を入れない 感電や異常動作によるけがの原因となります。
 ● 倒したり、落としたり、ぶつかけたり、強い衝撃をあたえない ● 電源コードに重いものを載せたり、機器にはさまない けがや事故、発火、故障の原因となります。	 ● 使用中にガードを持って、高さ調節や上下・左右に風向きを変えない ガードを持って強く操作すると、羽根がガードに当たる場合があり、羽根が破損し、けがの原因となります。
 ● 子供や不慣れなただけで使用させたり、子供の手の届くところで使用しない、保管しない 感電、けがの原因となります。	 ● 入タイマー設定中は、羽根・ガードに触らない けがの原因となります。
 ● 電源プラグをなめさせない お子様が誤ってなめないように注意してください。感電やけがの原因となります。	 ● 羽根・ガードを付けずに高さ調節ボタンを押さない モーター部やスライドパイプが飛び出してけがの原因となります。
 ● ベースを付けずに運転しない けがの原因となります。	 ● 本体やリモコンに水や油をつけた り、水をかけたり、丸洗いをしない 感電、ショート、発火、故障の原因となります。 水ぬれ禁止
 ● ガードの中や可動部へ指などを入れない 重大なけがをする原因となります。とくにお子様には注意してください。 接触禁止	 ● 絶対に改造、分解をしない 改造はしない。また、修理技術者以外の方は、分解したり修理をしない。 火災、感電、けがの原因となります。 分解禁止
 ● ぬれた手で本体を操作したり、電源プラグを抜きさししない ショート、感電の原因となります。 ぬれ手禁止	 ● 浴室など高温多湿の場所や水のかかる場所では使用しない、保管しない 絶縁劣化による感電・漏電 火災、事故の原因となります。 水場での使用・保管禁止 
 ● 電源プラグはコンセントの根元までしっかりさし込む さし込みが不完全な場合、火災・感電・ショートの原因となります。	 ● 電源プラグの刃は清潔にする 電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付着している場合は、よく拭く。 火災の原因となります。
 ● 電源は交流 100V のコンセントを単独で使用する 他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して、発火することがあります。	 ● 包装用のポリ袋はお子様の手の届かない場所に保管する 誤って顔にかぶったり、巻き付いたりして窒息し、死亡の原因となります

⚠ 警告

	● 異常、故障時には、ただちに使用を中止する 発煙、発火、感電、けがのおそれがあります。 <異常・故障例> ● 本体が変形したり、異常に熱い。 ● 電源コードや電源プラグが変形や、変色、損傷している。 ● 電源コードの一部や電源プラグがいつもより熱い。 ● 電源プラグや電源コードを動かすと稼動したり、しなかったりする。 ● 異常なおいや音、振動がする。 ● ビリビリと電気を感じる。 ※ 直ちに使用を中止し、プラグをコンセントから抜き、株式会社 MonotaRO(TEL:0120-443-509) にご相談ください。		● リチウム電池の取り扱いには十分注意する ● 指定以外のリチウム電池を使用しない (指定リチウム電池：CR2025) ● 極性（⊕と⊖）を間違えない。 ● 損傷（変形・傷）や異物が付着したリチウム電池は使用しない。 ● 充電・分解・ショート・加熱したり、火の中に入れたりしない。 使い方を誤ると発熱や破裂したり、けが・やけど・感電の原因となります。 ● リチウム電池はお子様の手の届かぬところに置く 誤飲の原因となります。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。
 プラグを抜く	● 組み立て、お手入れ、持ち運び、収納の際は、必ず、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く 不意に動作してけがをしたり、感電、発火、火災、故障の原因となります。		

⚠ 注意

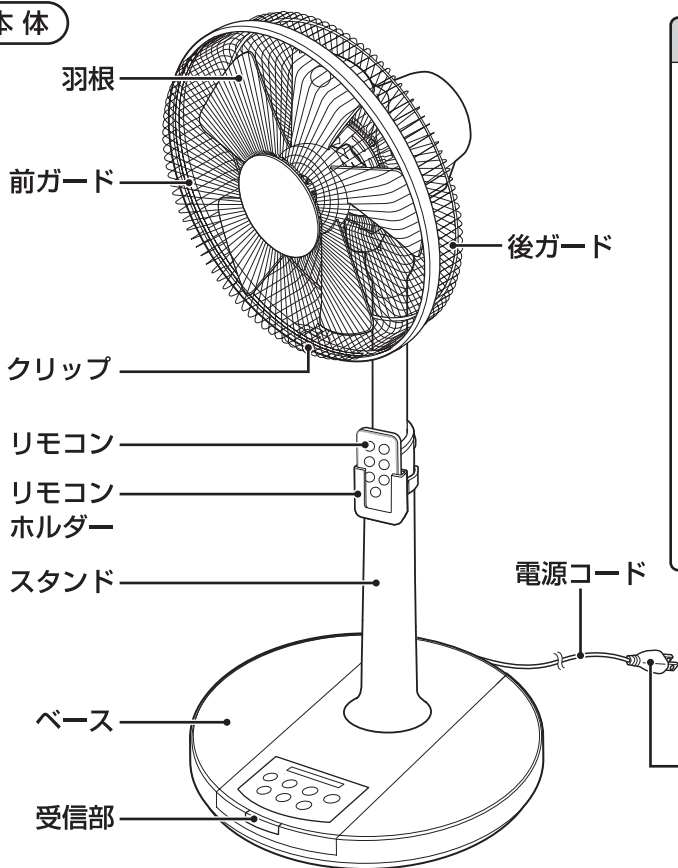
	● 羽根に貼ってあるラベルは絶対にはがさない 事故防止のために法律で定められた表示です。		● お手入れにはシンナー・ベンジン・みがき粉・たわし・化学ぞうきん類は使用しない 製品の変質や劣化による故障や破損、けがや事故の原因となる場合があります。 お手入れはぬるま湯か台所用中性洗剤などを使用してください。 ※ 洗剤の種類によっては、台所用中性洗剤でもプラスチック（樹脂）に使用できないものがありますので、洗剤の注意書きをよくご確認ください。プラスチック（樹脂）に使用可能な洗剤でも、洗剤が残っていると、化学作用によりプラスチック（樹脂）を侵し、破損してけがや事故の原因となる場合がありますので、お手入れ後洗剤が残らないようしっかりふき取ってください。
	● 風を長時間、体に当てない 健康を害することがあります。特に、お子様やお年寄り、ご病気の方にはご注意ください。脱水症状をおこす原因となります。		
	● 掃除用、整髪用、殺虫剤などのスプレーを吹き付けない 変質・破損などによりけがや事故の原因となります。		
	● 本体を引きずらない 床や畳を傷付ける原因となります。		

⚠ 注意

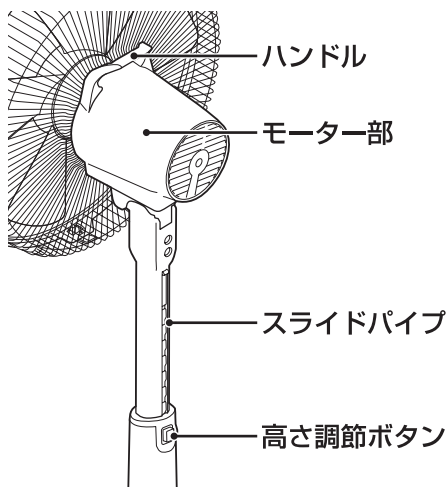
	● 本製品は一般家庭用です。絶対に業務用に使用しない 本製品に無理な負担がかかり、火災や事故、故障の原因となります。		● 次の場所では使わない ● 火気の近く ● 雨や水しぶきのかかる場所 ● 高温（40℃以上）、多湿（80%以上）になる場所 ● 低温（5℃以下）になる場所 ● キッチンや工場などの油・油煙が発生する場所 ● 灯油・ガソリン・シンナー・ベンジン・塗料などの引火性のものがある場所 ● 直射日光など、強い紫外線のあたる場所 ● 油や薬品を使う場所 感電やショート、火災や爆発のおそれがあります。また、事故や故障の原因となります。
	● 操作ボタンを強く押したり、操作部に乗ったりしない 故障の原因となります。ボタンを押すときはボタンの中心部を押してください。		
	● ガードに髪や衣類などを近づけない 髪などが巻き込まれ、けがをするおそれがあります。		
	● 破損した羽根は使わない けがの原因となります。		
	● お手入れのときは、食器洗い乾燥機・食器乾燥機を使わない 樹脂が変形したり、破損の原因となります。		● カーテンなどの障害物の周辺や不安定な場所では使用しない 不安定な場所や首振りなどをさまたげる障害物があると転倒し、羽根破損、けがの原因となります。
	● スライドパイプに油などを付けない 伸縮部分が急にスライドするなどしてけがの原因となります。	 接触禁止	● 運転停止直後はモーター軸が熱くなっているので、お手入れをしたり直接接触ったりしない
	● 本体に異常な振動が発生した場合は、使用を中止する 羽根やガードがはずれたり、落下によりけがをする原因となります。		● コンセントの周りは清潔にする 絶縁劣化による感電・漏電火災、けがの原因となります。 
	● 電源コードが破損した場合には、直ちに使用を中止し、プラグをコンセントから抜き、危険が生じないようにするために、株式会社 MonotaRO(TEL:0120-443-509) にご相談ください。		● 市販の保護ネットを取り付けるときは、たるみがないようにする 市販の保護ネットはたるみがあるとガードに吸い込まれ、羽根の破損、けがの原因となります。
 プラグを抜く	● 使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く 絶縁劣化による感電や漏電による火災、やけど、けがの原因となります。	 プラグを抜く	● 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たず、電源プラグを持ってまっすぐ引き抜く 感電、発火の原因となります。

2 各部の名称

本体



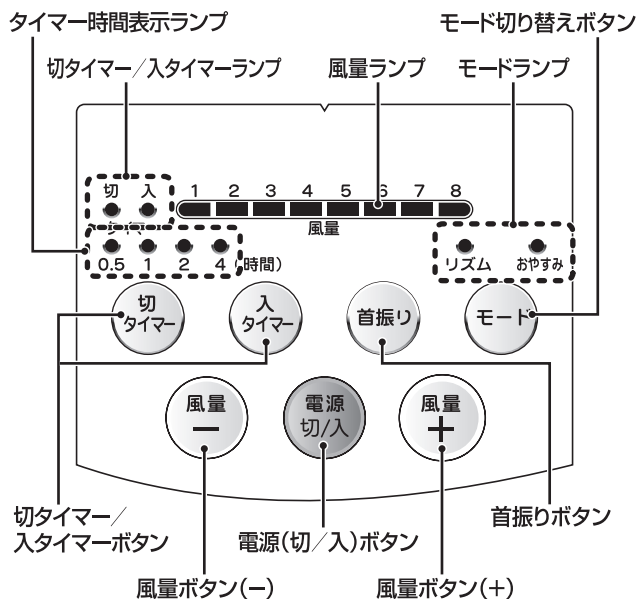
背面



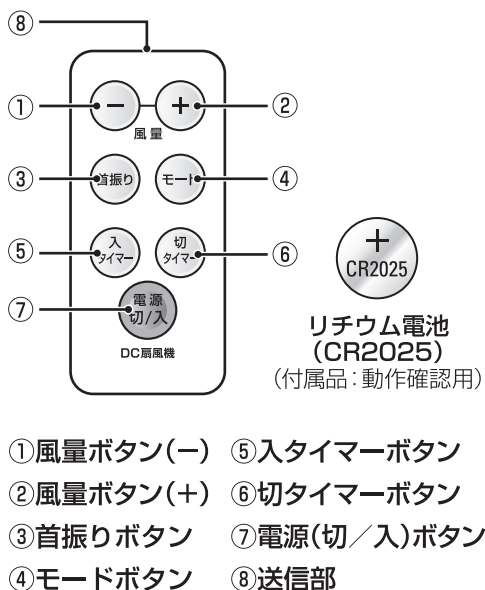
電源プラグ

交流100Vのコンセントをご使用ください。
使用後は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

操作部



リモコン



3 リモコンについて

■ リモコンのご使用の前に

付属のリチウム電池をパッケージから取り出してください。

- 付属の電池は動作確認用のため、寿命が短い場合があります。

※ リチウム電池は消耗品です。



注意

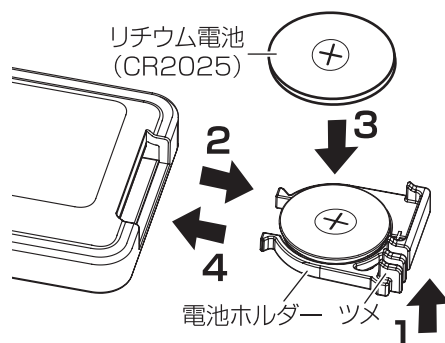
必ず指定のリチウム電池をお使いください。(電池 CR2025)

■ リチウム電池の入れかた／交換のしかた

1. 電池ホルダーのツメを矢印の方向へ移動させます。
2. 電池ホルダーを引き出します。
3. 電池の極性⊕側を必ず上側にします。
4. 電池ホルダーをはめ込みます。

お願い

- 長期間リモコンを使わないときは、リモコンからリチウム電池を取り出してください。(液もれの原因となります。)
- 液がもれたときは、液をよく拭き取ってから新しいリチウム電池に交換してください。
- リチウム電池を廃棄する場合は、お住まいの地域のごみ分別方法に従ってください。



警告

● 電池やリモコンはお子様の手の届かないところに置く

万一、飲み込んだ場合は、直に医師にご相談ください。また、乳幼児がリモコンから電池を取りださないようにご注意ください。

■ リモコンの操作について

リモコンの送信部を本体の受信部に向けて操作します。

- リモコンで操作できる範囲は、受信部正面で約 3 m、左右に約 60° 以内です。
- 受信部に対し斜めになるほど操作できる距離は短くなります。
- 電池が消耗して動作しにくくなったら、新しい電池に交換してください。
- ボタンの操作は中央部を押してください。端を押したり、つめの先で押したりすると操作できないことがあります。

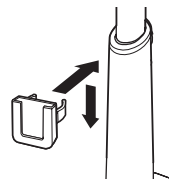
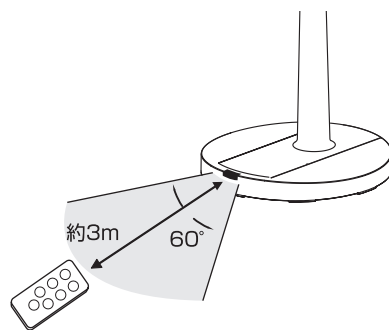
お願い

- 受信部に直射日光や照明器具の強い光が当たらないようにしてください。
- 受信部を隠さないでください。障害物があるとリモコンによる操作ができなくなります。
- 扇風機にさわっているときなどは、リモコンを操作しないでください。

■ リモコンホルダーの取り付けかた

スタンド前面、または背面上部からさし込み、軽く止まるところまで降ろします。

リモコンを使用しないときは、紛失を防止するためにリモコンホルダーに収納してください。



注意

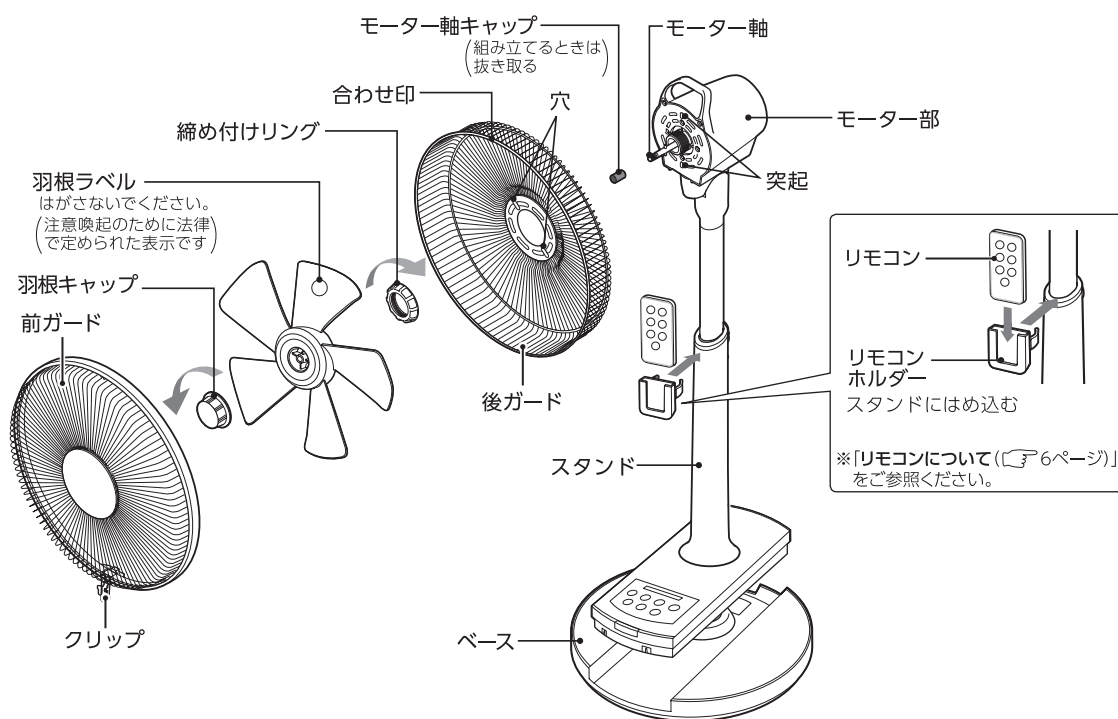
リモコンホルダーを無理に下げたり、横や下からさし込まないでください。破損するおそれがあります。

4 組み立てかた



注意

- 本製品が入っていた梱包箱・包装部品やモーター軸のキャップは、収納時に必要です。なくさないようご注意ください。
- 組み立てるときは、各部のすき間や可動部に指や手をはさまないように注意してください。
- 羽根・ガードを取り付けないで高さ調節ボタンを押さないでください。モーター部が飛び出して、けがをする原因となります。
- 組み立てるとき・お手入れをするとき・持ち運ぶときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。感電・けがの原因となります。

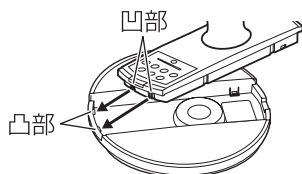


1. スタンドをベースに取り付ける

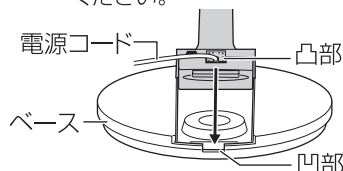
① 固定リングをスタンドから取りはずす



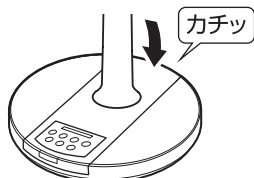
② スタンド前面の凹部とベースの凸部を噛み合わせて、確実にはめ込む



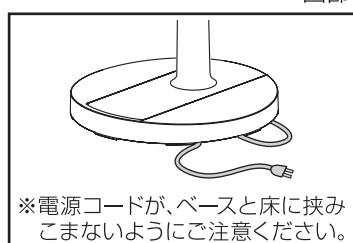
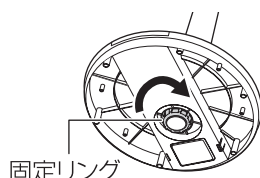
③ スタンド後面の凸部を、ベースの凹部に合わせて、確実にはめ込む
※電源コードの挟み込みにご注意ください。



④ スタンド後部をベースに“カチッ”と音がするまで確実にはめ込む

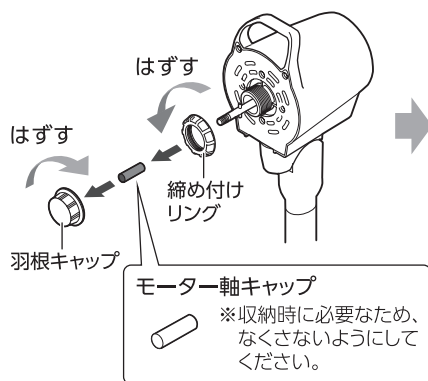


⑤ 固定リングを右に回し、スタンドとベースを確実に固定する

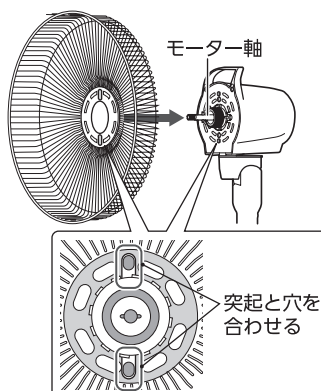


2. 後ガードを取り付ける

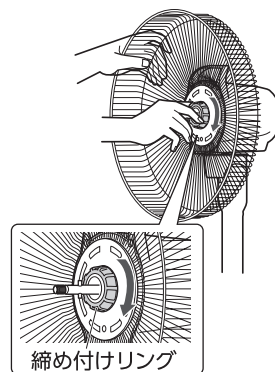
- ① 羽根キャップ、締め付けリング、モーター軸キャップを取りはずす



- ② モーター部の突起(2カ所)と、後ガードの穴(2カ所)を合わせる

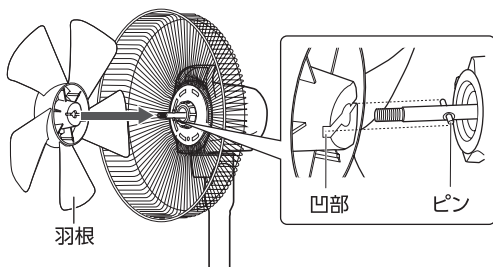


- ③ 締め付けリングを右方向に回し、しっかり締め付ける

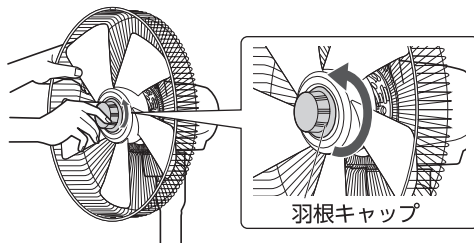


3. 羽根を取り付ける

- ① モーター軸のピンに羽根の凹部を合わせてさし込む

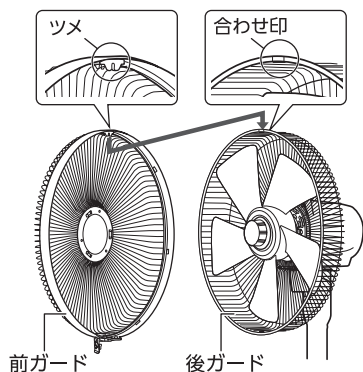


- ② 羽根を押さえながら、羽根キャップを左へ回して確実に締め付ける

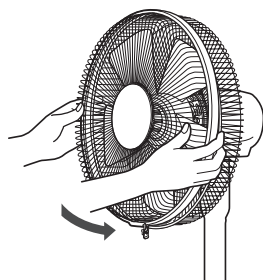


4. 前ガードを取り付ける

- ① 前ガードのツメを、後ガードの合わせ印に合わせてはめ込む

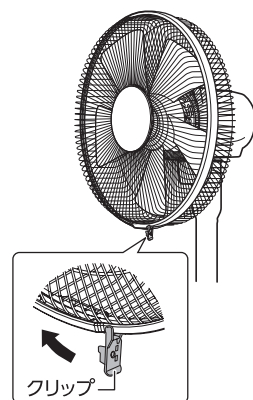


- ② 前ガードを後ガードにかぶせるように、上から順にはめ込む



- ③ クリップを“カチッ”と音がするまで押し込む

※ 前ガードがはずれないことを確認してください。



5 使いかた

■ 運転の前に

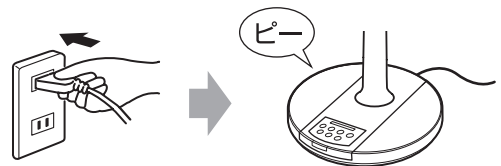


注意

- 電源コードの結束バンドは必ずはずしてください。
- 電源は交流 100V のコンセントを単独で使用し、電源プラグはコンセントの根元までしっかりさし込んでください。
- 運転中に停電したり、電源プラグを抜いた場合は、電源「切」の状態になりますので、始めから操作をやり直してください。
- 通電中は操作パネルの一部が暖かくなりますが、マイコンなどの消費電力によるもので故障ではありません。そのまま続けてご使用ください。
- 本製品を不安定なところに設置しないでください。

電源プラグをコンセントにさし込む

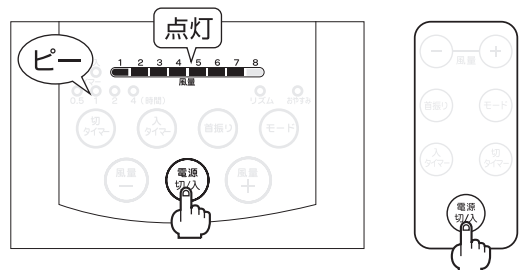
- “ピー” と音が鳴り、電源「入」（運転待機状態）になります。



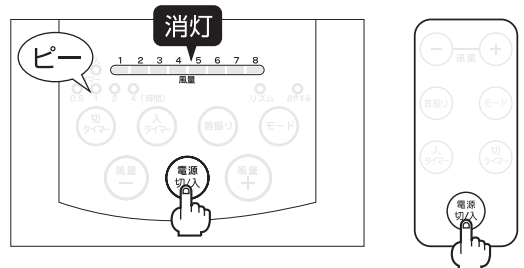
- 本体の操作部とリモコンのどちらでも操作ができます。

■ 運転を開始／停止する

- 運転停止中に「電源（切／入）ボタン」を押すと、“ピー” と音が鳴り、風量「7」で運転を開始します。
風量ランプが点灯します。



- 運転中に「電源（切／入）ボタン」を押すと、“ピー” と音が鳴り、運転を停止します。
すべてのランプが消灯します。



メモリー機能について

運転停止中に、電源（切／入）ボタンを押すと、前回ご使用の運転状態（風量・首振り・モード）で運転します。

※ タイマー時間は記憶されません。

※ 電源プラグを抜くと、メモリー機能は解除されます。

8時間オートオフ機能について

- 運転開始後、操作しない時間が 8 時間経過すると自動的に運転を停止します。

- 続けて運転したいときは、電源（切／入）ボタンを再度押してください。

※ オートオフ機能を無効にすることはできません。

■ 風量を調節する

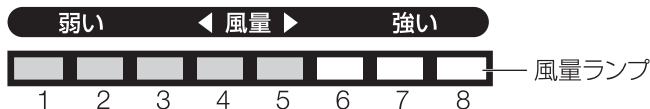
- 「風量ボタン (+/-)」を押すたびに“、ピー”と音が鳴り、風量が切り替わります。

風量は、1～8 までの 8 段階切り替えです。

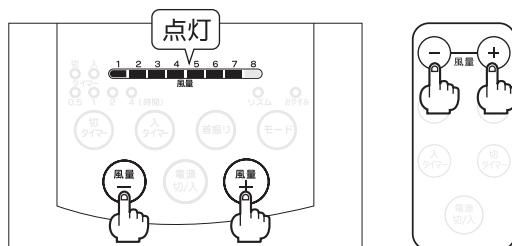
「風量ボタン (+)」を押すたびに、風量は一段階ずつ強くなります。

「風量ボタン (-)」を押すたびに、風量は一段階ずつ弱くなります。

選択した風量の風量ランプが点灯します。



※風量「5」の場合



■ モードを切り替える

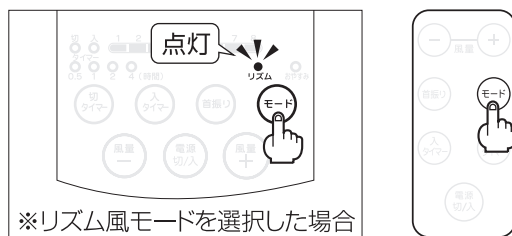
- ※ 風量を調節してからモードを切り替えてください。モード切替後に風量を調節するとモードは解除され通常運転に切り替わります。

- 「モード切り替えボタン」を押すたびに“、ピー”と音が鳴り、運転モードが切り替わります。

運転モードは、リズム風モードと、おやすみモードのどちらかを選択できます。

選択した運転モードのモードランプが点灯します。

通常運転に切り替えるには、モードランプが消灯するまで順に押し、運転モードを解除してください。



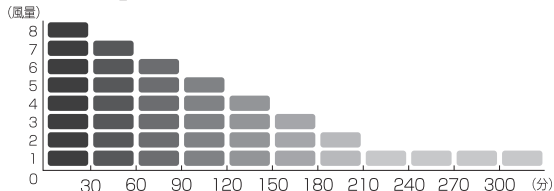
モードの切り替えについて



- リズム風…風量に変化をつけたリズムカルな風で運転します。
* リズム風は風量 1～8 (弱いリズム風～強いリズム風) に連動して動作します。
* リズム風はマイコンのはたらきで、風量の強弱が複雑に変化します。
- おやすみ…選択中の風量から順に風量を弱くしていきます。

おやすみモードの風量について ※ 風量ランプは、現在運転中の風量「1」～「8」を表示します。

- 風量を「8」に設定し、おやすみモードに切り替えた場合



- 風量を「3」に設定し、おやすみモードに切り替えた場合

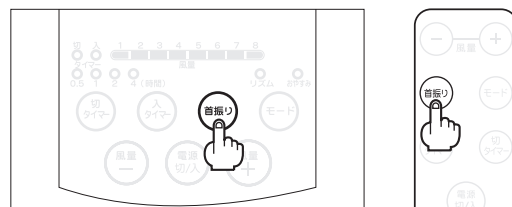
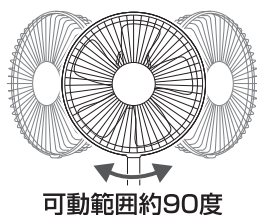


※ 約 30 分経過ごとに風量が 1 段階ずつ弱くなります。

※ 風量を「1」に設定した場合は、風量「1」で運転を継続します。

■ 首振り運転を開始／停止する

- 「首振りボタン」を押すたびに、“ピー”と音が鳴り、左右の首振り運転を開始／停止します。



■ タイマーの設定をする

設定した時間後に自動で運転を開始（入タイマー）／停止（切タイマー）します。

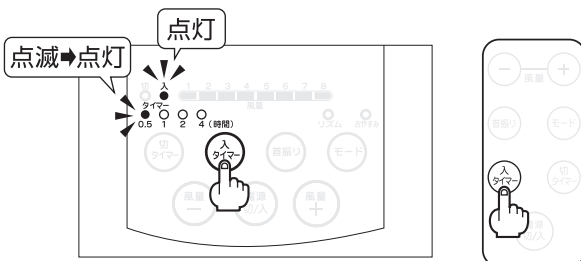
お知らせ

- 「入タイマー」は、運転停止中のみ設定できます。
- 「入タイマー」を設定した後に「電源（切／入）ボタン」を押すと、「入タイマー」設定が解除され、運転を開始します。
- 入タイマー設定時間／切タイマー設定時間は目安です。
- 入タイマー／切タイマーを設定後、停電したり、電源プラグを抜いた場合は設定が解除されます。始めから設定をやり直してください。

「入タイマー」設定

1. 運転停止中に「入タイマーボタン」を押し、運転開始までの時間を設定する

- “ピー”と音が鳴り、入タイマーランプが点灯し、タイマー時間表示ランプ（0.5）が約5秒間点滅します。
- 「入タイマーボタン」を押すたびに、30分～7時間30分まで、30分刻みで設定でき、タイマー時間表示ランプが順に切り替わります。（下記の「タイマー時間表示ランプについて」をご参照ください。）
- タイマー時間表示ランプが点滅から点灯に切り替わると、入タイマー設定が完了します。
- 入タイマー設定を解除するときは、電源（切／入）ボタンを押して運転を開始するか、タイマー時間表示ランプが消灯するまで順に押してください



タイマー時間表示ランプについて

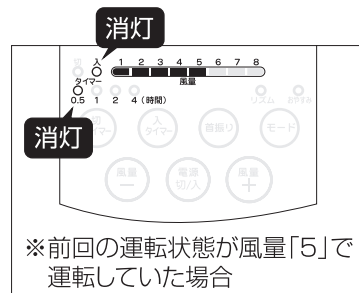
入タイマーボタン、または切タイマーボタンを押すたびに、タイマー時間表示ランプが次のように切り替わります。

30分 ● 0.5 ○ 1 ○ 2 ○ 4 (時間)	1時間 ○ 0.5 ● 1 ○ 2 ○ 4 (時間)	1時間30分 ● 0.5 ● 1 ○ 2 ○ 4 (時間)	2時間 ○ 0.5 ○ 1 ● 2 ○ 4 (時間)	2時間30分 ● 0.5 ○ 1 ● 2 ● 4 (時間)
3時間 ○ 0.5 ○ 1 ● 2 ○ 4 (時間)	3時間30分 ● 0.5 ○ 1 ● 2 ○ 4 (時間)	4時間 ○ 0.5 ○ 1 ○ 2 ● 4 (時間)	4時間30分 ● 0.5 ○ 1 ○ 2 ● 4 (時間)	5時間 ○ 0.5 ○ 1 ○ 2 ● 4 (時間)
5時間30分 ● 0.5 ○ 1 ● 2 ● 4 (時間)	6時間 ○ 0.5 ○ 1 ● 2 ● 4 (時間)	6時間30分 ● 0.5 ○ 1 ○ 2 ● 4 (時間)	7時間 ○ 0.5 ○ 1 ○ 2 ● 4 (時間)	7時間30分 ● 0.5 ○ 1 ○ 2 ● 4 (時間)
タイマー解除 ○ 0.5 ○ 1 ○ 2 ○ 4 (時間)	30分 ○ 0.5 ○ 1 ○ 2 ○ 4 (時間)	・・・と繰り返し表示します。		

2. 運転開始するまで約30分経過ごとに、タイマー時間表示ランプは切り替わり、残り時間の目安を表示する

3. 設定時間が経過すると、前回ご使用の運転状態（風量・首振り・モード）で運転する

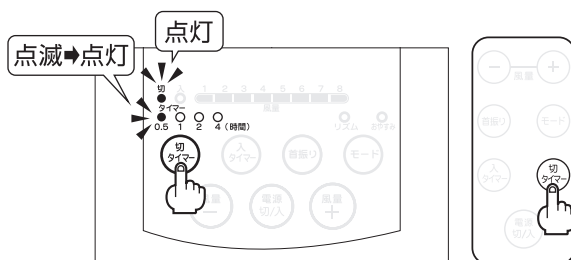
- 入タイマーランプとタイマー時間表示ランプが消灯します。



「切タイマー」設定

1. 運転中に「切タイマーボタン」を押し、運転停止までの時間を設定する

- “ピー” と音が鳴り、切タイマーランプが点灯し、タイマー時間表示ランプ「0.5（30分）」が約5秒間点滅します。
- 「切タイマーボタン」を押すたびに、30分～7時間30分まで、30分刻みで設定でき、タイマー時間表示ランプが順に切り替わります。（11ページの「タイマー時間表示ランプについて」をご参照ください。）
- タイマー時間表示ランプが点滅から点灯に切り替わると、切タイマー設定が完了します。
- 切タイマー設定を解除するときは、電源（切／入）ボタンを押して運転を停止するか、タイマー時間表示ランプが消灯するまで順に押してください。



2. 運転停止するまで約30分経過ごとに、タイマー時間表示ランプは切り替わり、残り時間の目安を表示する

3. 設定時間が経過すると、自動で運転を停止する

- すべてのランプが消灯します。

「入タイマー」／「切タイマー」の同時設定

2時間後に運転を開始し、運転開始6時間後に運転を停止したいときなど、「入タイマー」と「切タイマー」を同時に設定できます。
※「切タイマー」は、「入タイマー」より先に設定できません。

1. 運転停止中に「入タイマーボタン」を押し、運転開始までの時間を設定する

- タイマー時間表示ランプは、運転開始までの時間を約5秒間点滅した後、点灯表示に切り替わります。

2. 「切タイマーボタン」を押し、運転開始後停止するまでの時間を設定する

- タイマー時間表示ランプは、運転停止までの時間を約5秒間点滅表示した後、運転開始までの時間を点灯表示します。



3. 入タイマー設定時間が経過すると、前回ご使用の運転状態（風量・首振り・モード）で運転を開始し、運転開始後、切タイマー設定時間が経過すると自動で運転を停止する



設定例



- 運転開始前は運転開始するまで約30分経過ごとに、タイマー時間表示ランプは切り替わり、残り時間の目安を表示します。
- 運転開始後は運転停止するまで約30分経過ごとに、タイマー時間表示ランプは切り替わり、残り時間の目安を表示します。

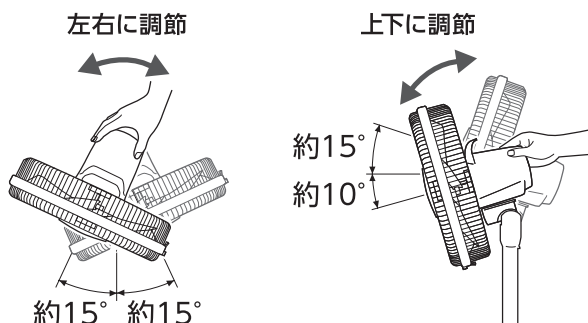


注意

- 風向きや高さを調節するときは、各部のすき間や可動部に指や手をはさまないように注意してください。
- 調節可動範囲（左右・上下調節範囲）を超えて無理に動かさないでください。首振り用モーターが故障する原因となります。
- 風向きや高さを調節するときは、運転を停止し、羽根が完全に止まってから行ってください。
- 本製品を持ち運ぶときは、スライドパイプを一番したに押し下げ、必ずハンドルを持って持ち運んでください。

■ 風向きを調節する

- ベースを軽く押さえ、モーター部を上下・左右に動かしてください。

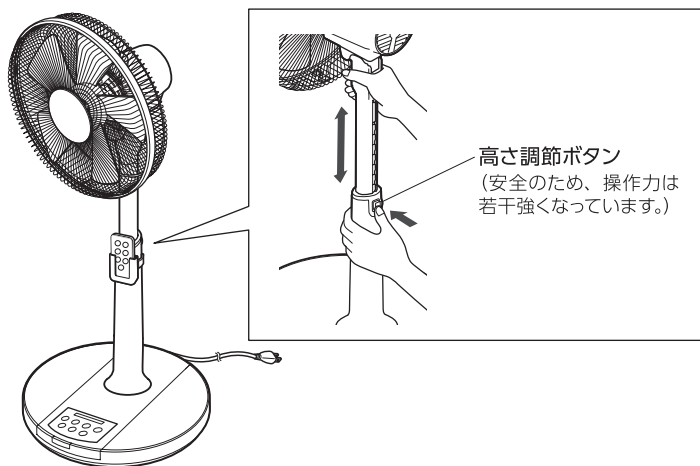


注意

- 運転中にガードを持って風向きを変えないでください。
- 首振り運転中に無理にガードを動かしたり、固定したり、首振り動作を妨げたりしないでください。

■ 高さを調節する

- 高さ調節ボタンを押しながら、スライドパイプの上部を持って調節してください。（下げる時は、上から押さえると下がります。）



注意

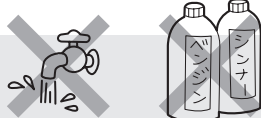
- 調節時は可動部に指を挟まないように気をつけてください。
- 羽根・ガードを取り付けずに高さ調節ボタンを押さないでください。モーター部が飛び出して、けがをする原因となります。

6 お手入れと収納のしかた

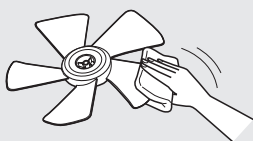
■ お手入れのしかた

- 羽根やモーター部にほこりが多量に付着すると、異常音・振動・モーターの過熱の原因となります。
- 定期的にガードや羽根を取りはずし、お手入れを行ってください。
- お手入れをするときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

羽根・本体

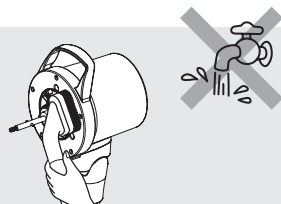


- 水をふくませた柔らかい布を固くしぼって拭いてから、乾いた布で拭いてください。汚れがひどいときは、水でうすめた台所用中性洗剤をふくませた柔らかい布を固くしぼって拭いた後、洗剤を拭き取ってください。
※シンナー・ベンジン・漂白剤・研磨剤入り洗剤などは使わないでください。



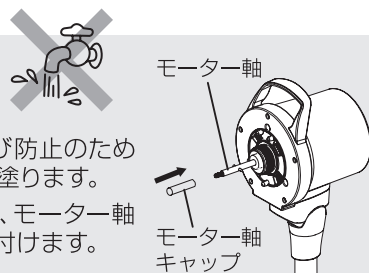
モーター部

- ほこりを掃除機で吸い取ってください。



モーター軸

- 汚れを取り、さび防止のためミシン油を薄く塗ります。
- 収納するときは、モーター軸キャップを取り付けます。



注意

- 運転停止後は、モーター軸が熱くなっています。取りはずしやお手入れは、30分程度待ってモーター部が冷えてから行ってください。

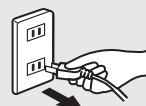
■ 収納のしかた

収納の前には

- 1 首振り運転を行い、ガードを正面に向ける



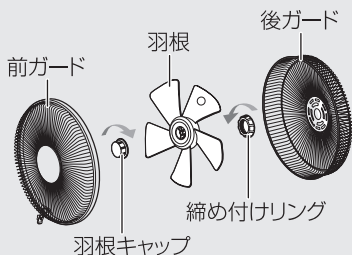
- 2 運転を停止し、電源プラグを抜く



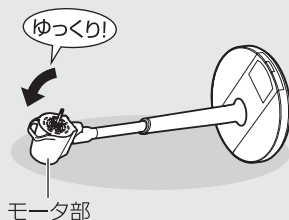
分解のしかた

組み立てかたと反対の手順で分解してください。(P.7ページ参照)

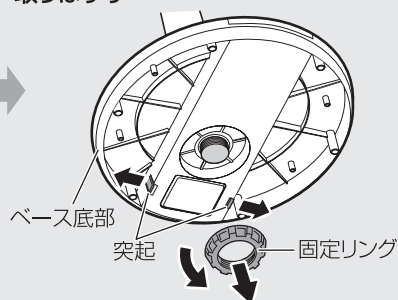
- 1 前ガード、羽根、後ガードを取りはずす



- 2 モーター部を持ち、ゆっくりと本体を寝かせる



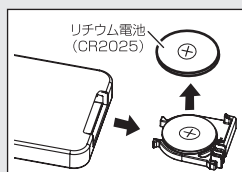
- 3 ベース底部の固定リングを取りはずし、本体後部の突起(2カ所)をベースから取りはずす



- 各部品を取りはずしたあとに、下記に従って収納してください。
- 収納後は、湿気の少ないところに保管してください。

リモコン

リモコンから、リチウム電池を取り出す（ 6ページ参照）

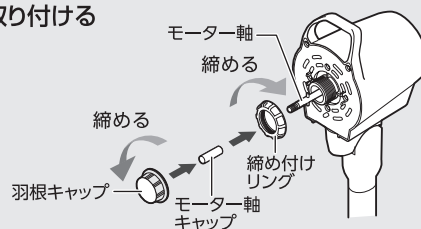


ご注意

- リチウム電池はリモコンから必ず取り出してください。リチウム電池の液もれや電池の寿命が短くなる原因となります。
- リチウム電池は幼児の手の届くところに置かないでください。

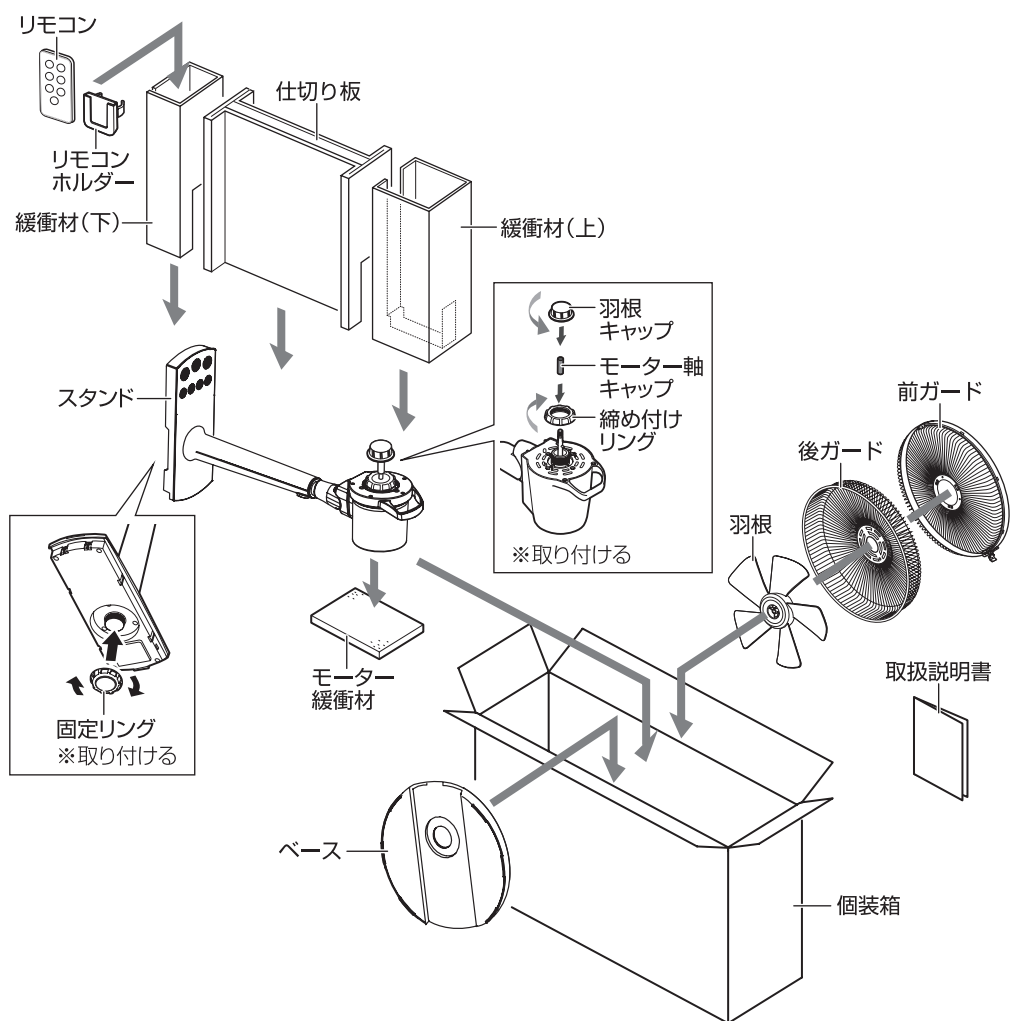
締め付けリング、モーター軸キャップ、羽根キャップ

モーター軸に、締め付けリング、モーター軸キャップ、羽根キャップを取り付ける



個装箱への収納

下の図を参考に、箱へ収納します。



7 故障かな？と思ったら

故障のご相談をされる前に、次のことをお確かめください。

症 状	確認してください	処置の方法	参照 ページ
電源(切／入)ボタンを押しても運転されない	電源プラグはコンセントに確実にさし込まれていますか？	電源プラグをコンセントに確実にさし込んでください。	9
	ご家庭のヒューズ、ブレーカーが切れていませんか？	—	—
リモコンで動作しない(ときどき動作しない)	電源(切／入)ボタンは押しましたか？	電源(切／入)ボタンを押してください。	9
	電池が消耗していませんか？	電池を交換してください。	6
	電池の入れかた(⊕⊖の方向)が間違っていないですか？	電池を正しく入れ直してください。	6
	インバーター照明器具や電子瞬時点灯照明器具等、または直射日光など、強い光が当たる場所で使用していませんか？	向きや位置を変えてください。	6
運転中の音が異常に大きい	羽根はしっかりと取り付けられていますか？	羽根をしっかりと取り付けてください。	8
	ガードはしっかりと取り付けられていますか？	ガードをしっかりと取り付けてください。	8
	羽根とガードが当たっていませんか？	羽根とガードを正しく取り付けてください。	8
リズム風や首振り運転中などの音が気になる	モーターや首振りモーター、風量が切り替わる時に運転音が聞こえる場合があります。	異常ではありません。	—
風量が増えるときの回転音が気になる	風量が一時的に強まるとき、モーターから「ウィーン」、「ウォーン」と、インバーターモーター特有の音が聞こえる場合があります。	異常ではありません。	—
首振りするときの動作音が気になる	首振りモーター特有の音で、「カタカタ」、「コトコト」という音が一時的に強まることがあります。	異常ではありません。	—
首振りの向きが左右どちらかに傾いている	風向調節をしていませんか？	正面に直してください。正面を中心に左右に約15°調節できます。	13
自動で運転停止した	切タイマーを設定しませんでしたか？	切タイマーを設定すると、設定時間経過後、自動的に運転を停止します。	12
	オートオフ機能が働いていませんか？	運転開始後、操作しない時間が8時間経過すると自動的に運転を停止します。	9
操作部やその周囲があたたかい	ボタン操作やランプの表示は正常ですか？	異常ではありません。内部の基板の消費電力の熱量の影響です。	9
羽根・ガード、ベースなどに小さいキズがある	全数組み立てて運転確認をしているため、多少キズがつく場合があります。	異常ではありません。	—

点検後、異常がある場合は、ご自分で修理せず株式会社 MonotaRO(TEL:0120-443-509) にご相談ください。

8 仕様

品 名	DC ハイポジションリビング扇風機			
品 番	MFD-HR1819	羽 根 枚 数	5 枚	
電 源	交流 100V	質 量	約 3.3 kg	
消 費 電 力 ^{*1}	周波数 50/60 Hz	18W	羽 根 径	30 cm
風 速 ^{*1}		210m/min	首 振 り 角 度	約 90 度
風 量 ^{*1}		32m ³ /min	コードの長さ	約 1.8 m
外 形 寸 法	幅 370 × 奥行き 370 × 高さ 1080 mm（高さ調節範囲：800 ～ 1080 mm）			
付 属 品	リモコン・リモコンホルダー・リチウム電池（付属品 CR2025 動作確認用）			

* 1：風量「8」、首振り運転時の値です。

● 運転停止時の本体消費電力は約 1.1W です。

※仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

※この製品は、日本国内交流 100V 専用に設計されていますので、国外では使用できません。

9 長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

本体への表示内容

経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために、電気用品安全法で義務付けられた以下の内容の表示を本体に行っています。

	【製造年】 本体に西暦 4 桁で表示してあります	
	【設計上の標準使用期間】 5 年	
	設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。	

（設計上の標準使用期間とは）

※ 運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※ 設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

● 標準的な使用条件 日本工業規格（JIS C9921-1）による

環境条件	電圧	AC 100 V
	周波数	50/60 Hz
	温度	30 ℃
	湿度	65 %
	設置条件	本書に基づく組み立ておよび設置
想定時間	本製品の最大定格で運転	
負荷条件	1 日あたりの使用時間	8h/ 日
	1 日使用回数	5 回 / 日
	1 年間の使用日数	110 日 / 年
	スイッチ操作回数	550 回 / 年
	首振運転の割合	100%

注記 環境条件の湿度 65% は、JIS Z 8703 の試験状態を参考としている。

● 「経年劣化」とは長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

愛情点検 長年ご使用のDCハイポジションリビング扇風機の点検を！			
	こんな症状はありませんか	●本体が変形したり、異常に熱い。 ●電源コードや電源プラグが変形や、変色、損傷している。 ●電源コードの一部や電源プラグがいつもより熱い。 ●電源プラグや電源コードを動かすと稼動したり、しなかったりする。 ●異常なおいや音、振動がする。 ●ビリビリと電気を感じる。	こんなときは 使用を中止してください。 故障や事故防止のため、電源プラグを抜いて、必ず株式会社 MonotaRO (TEL:0120-443-509) にご相談ください。
	こんなことはありませんか	電源プラグにほこりやごみがたまっている。	ほこりやごみを取り除いてください。

